



体育祭

学校祭スローガン **かっぱ えびせん 勝敗笑美戦**

勝っても敗けても笑顔で美しく戦う



準優勝
3年生

優勝
2年生

学校公開を実施しました！

10月14日(土)に学校公開を実施し、久美浜学舎の授業の様子を見ていただきました。また、生徒会主催の生徒交流会では、新生徒会メンバーを中心に、中学生からの質問に答えながら、学校の様子を語ってくれました。部活動体験も実施し、久美浜学舎での高校生活を実感していただくことができました。

先生の質問に対して、みなさんが意見を言っていてすごいなと思いました。

交流会では、先輩方の経験を細かくわかりやすく話してくれて、高校進学がより楽しみになった。

部活動では、学年の壁を感じないほどみんな仲が良さそうで楽しそうに活動されていて良かった。



丹後文化祭典

9月30日(土)、10月1日(日)に網野体育センターにて「第28回丹後高等学校文化祭典」が開催されました。本学舎からは茶道部・美術部が参加しました。



僕らのリアル

久美浜学舎生徒のホンネ

10月2日(月)に生徒会役員選挙の立会演説会が行われ、新たな生徒会執行部が発足しました。これをもって任期を終えた前期生徒会執行部のみなさんに、1年間の活動を振り返ってもらいました。

生徒会長 富田 穂希 (3年・加悦中)



私は、みんなが「楽しい」と思えるような学校生活にしてもらえるように生徒会長としてがんばってきました。そのために学校祭などの学校行事でいろいろなことに挑戦してきました。私自身、人前に出て話すなど、普段はできない貴重な経験をすることができました。みんなのためにはどうしたら良いのか、ということを考えながら進めることは、難しいことも多かったですが、とても良い経験になったと思います。今後の進路でも、こうした経験を活かしていきたいと思っています。1年間ありがとうございました。

副会長 奥田 羽南 (3年・久美浜中)



私は、生徒会役員になって学校を盛り上げたい、楽しが増えるようにしたいという思いで生徒会に入りました。はじめの頃は、意見が食い違って衝突することも多くあったけど、どんどんみんなが前向きになって、最後の体育祭はみんなで笑顔で「やり切った」って言って嬉しかったです。私は物事を最後までやり切ることで達成感を覚え、なんでも挑戦できるようになりました。生徒会発案でつくった学年Tシャツは、どの学年もかわいく一体感が生まれ最高でした。最後に生徒のみなさん、生徒会を支えてくれてありがとうございました。

議長 黒木 優美子 (3年・大宮中)



議長として主に司会進行を担当しました。私は人前になると緊張して声が小さくなっていましたが、こうした経験を通して、自信をもって人前で話をするできるようになりました。これは私にとって大きな成長だと思っています。また、学校祭のTシャツ作成の提案から実現までできて、とても嬉しかったです。生徒会での活動をふり返ってみると、本当にいろいろなことがありましたが、いろいろな人に支えられながらとても充実した日々を過ごすことができたと思います。私たちを支えてくれた先生、生徒の皆さんに感謝しています。

副議長 坂本 結生翔 (3年・久美浜中)



先生に言われたことだけするのでは特に力がつかないと思い、「学校祭のクラスTシャツを作りたい」という要望を実現するため、活動を始めました。お金や保護者への説明など、考えなければならないことはたくさんありました。まずは先生たちの前でプレゼンするために、じっくり時間をかけて準備しました。その努力が認められ、ついに実現することができました。その過程では、大変なこともたくさんありましたが、楽しくやりがいのある生徒会でした。1年間ありがとうございました。

書記 薮 彩夏 (2年・久美浜中)



最初は、生徒会役員をするときに同級生がなくて、正直心細かったです。1人でも堂々と行動していくために自らの新しい挑戦として、生徒会役員になると思いました。この1年間は大変なこともたくさんありましたが、先輩方が率先して動いてくださり、目の前で運営側を見ることができ、貴重な経験ができました。そして、今期からは生徒会長をつとめることになりました。これまでの経験と反省を活かし、生徒一人ひとりが楽しみ、成長できるような学校をつくっていけるように頑張っていきます。

会計 小國 心太 (3年・久美浜中)



最初は、何をしていけば良いのかということがわからない状態で不安なこともありました。生徒会活動を続けていくうちに、今どうするべきなのかがだんだん気づけるようになっていき、自分の成長を実感することができました。また、新しい取組が提案されるとみんなが積極的に協力し合って進めることができ、とても良い雰囲気の子供会だと思っています。欠員があったときには、進んで「自分がやるよ」と役割分担をすることができ、臨機応変に対応する力がついたと思います。これからもこの経験を活かしていきたいと思っています。

アグリサイエンス科通信

農業クラブ 農業鑑定競技 全国大会出場

6月の校内予選会で好成績を収めた形山 煌陽さん（2年・峰山中）と、豊浦 恵さん（1年・久美浜中）の2名が、学校代表として10月25日（水）～26日（木）に熊本県で開催される第74回日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競技会に出場します。

農業鑑定競技とは、農業の分野を8つに分け、それぞれに関する知識や技術の成果を競うもので、実物鑑定、判定、計算、測定、診断、審査技術に関する問題を限られた時間内で答える競技です。

両名は、8月から放課後の時間を活用し、毎日事前学習に取り組んできました。いよいよ、その成果を発揮する時が来ました。学校代表として自信を持って、大会を楽しみながら悔いのないよう頑張してほしいと思います。



コース別の取組

生産コース 夏作物から冬作物へ

春から栽培を行ってきた米の収穫に代表される様々な農作物の秋の实りを終え、季節の移ろいと共に、冬の味覚ハクサイ、ダイコン、ブロッコリー、水菜などの野菜の栽培が始まっています。久美浜学舎でも小さな種の種まきに悪戦苦闘しながら、慎重に作業を進めています。

食品コース 食パンの販売を始めました

食品コースでは、海部Kitchenを活用し様々なスイーツやパンの製造実習に取り組んでいます。この度、新たな試みとして9月中旬頃より1週間に1回程度、産直市場「火・水・風」さん（久美浜町永留）で食パンの販売を始めました。数量限定販売ですが一度御賞味ください。



予告

丹後万博2023で緑風マーケットを開催します！

日時：10月28日（土）10:00～16:00

会場：丹後王国「食のみやこ」

生産コース 米・野菜
食品コース オリジナルスイーツ

＼ぜひお越しください！／

みらいクリエイト科通信

みらい探究の取組

2・3年生を中心に1学期から自分を見つめ直したり、地域の多くの方々と関わっていく中で、それぞれの探究のテーマを決め、調査や検証を行っています。探究活動の原動力は、そのテーマを突き詰めたかどうかです。そのため、久美浜学舎の探究活動では、「自分の好きなことをとことん追求していくこと」を軸としています。

10月28日（土）に、丹後王国「食のみやこ」で開催される丹後万博2023では、そんな生徒たちの探究テーマを中心とした以下の展示・体験ブースを準備しています。ぜひお越しください。



【出展ブース①】高校生カメラマン 半径1km圏内で見つけた大切なこと

カメラを趣味とする高校生が在住する久美浜町内の日常を切り取り、写真におさめました。丹後には美しい風景が無数にありますが、今回はあえて、ありふれた日常の中で感じる人の繋がりや文化に目を向けた作品を展示します。

【出展ブース②】オーシャンヘリテージパッチワーク

伝統織物の切れ端と海ゴミを使ったリサイクルアート作品

京丹後市内にある織物企業の協力を得て伝統織物の切れ端と丹後の海岸に流れ着く漂流物を使ってアート作品を制作しました。制作したのは全国高等学校総合文化祭典に出場した美術部員で、丹後の環境問題を芸術という視点からアプローチした作品を展示します。



【出展ブース③】休みの時間の楽しみ ペットボトルキャップをとばそう

休みの時間の遊びから、普段はゴミとして扱われるペットボトルキャップやトイレットペーパーの芯などを使って新たな遊び道具として活用していくことを考えました。峰山町のラジコン店にも協力していただき、マシンを開発しました。来場者の方にも体験していただけます。

【出展ブース④】もの見え方とくらしへの影響

福祉科目の学習の一環で、「目」について調べたことをきっかけに探究を進め、人によって見え方にどのような違いがあるのか、その違いがどのような影響を与えるのかについて調べています。皆さんにも知っていただくとともに、来場者の方を対象に目に関する調査を行ったり、実際に体験していただいたりします。



ライフスキル（防災教育）

本校では1年生を対象に、社会人基礎力を養う「ライフスキル」の授業があります。その学習の一環として、10月4日（水）、福知山公立大学の大門 大朗准教授をお招きして、防災教育とキャリア教育を行っていただきました。「避難」における2つのポイントとして、避難する基準となる避難スイッチを決めておくことや、ベストな避難場所だけでなく、セカンドベストの避難場所を見つけておくなど、地域の事例や経験をもとに講演していただきました。

